

わかっているけど大変…

# いやいや期



## ● 「いやいや期」って…？

2歳を迎えるころから何でも自分でしたが、でも思う通りにできずに泣いたり、怒ったりする姿が見られます。一般的に「いやいや期」と呼ばれたりしますが、どうしてこのような姿が表れてくるのでしょうか。



## 【だって、色々なことができるようになってきたんだもん】

歩く・走る・跳ぶ・食べる・着替える・おしゃべりする・・・日々できることが増えていく時期です。小さい赤ちゃんの頃は手に持った物は口に入れて《それが何であるか》を確かめていましたが、今はもっとたくさんの感覚を使って自分の周りの物・事に関わっています。「これ、なあに？」「どうして？」と言葉を使って周りの世界を知ろうとします。こうして経験するすべてが《自分をつくる》基になっていきます。



## 【でも、うまくいかないこともあるよ…】

最初から何でもうまくこなすことはできません。何度も繰り返しながら身につけていきます。歩けるようになるまでもそうでしたよね。でも、赤ちゃんの時には「歩けない！」と怒ったりはしませんでした。が、今は心も成長しているのです。自分が「こうしたい」という見通しを持って挑戦しているのに、そうなっていない結果を理解することもできます。その気持ちが涙になったり怒ったりする姿となって表れてきます。



## 【見守ってね。そしたら、次もがんばれる！】

そんなとき、周りの大人が「悲しかったね」「くやしかったね」と気持ちをわかってくれたら「また、次もやってみよう」という気持ちになります。手伝ったり、待ったり、やり方は色々ありますが、「自分でやってみたいんだね」と、見守ってあげましょう。そして、できた時にはいっぱいほめてあげてください。大好きな人にほめてもらえることは子どもたちにとっては《心の栄養》、自分に自信を持ち自己肯定感につながります。